

# 子育て世代の理学療法士のスキルアップを考える

## ～ライフワークを考えるセミナー～

### 関係者各位

現在、地域理学療法の普及と発展に寄与することを目的とし、地域包括ケアシステムの構築を進めており地域共生が求められている中、我々が考える介護予防、地域づくりの視点や感性をブラッシュアップする機会です。また、ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門では、性差医療の視点から健康問題を捉え、その症状や生活の質の改善につながる理学療法を提供するため、学術的視点と臨床の視点に立ち、根拠に基づいた理学療法の構築と、その普及、教育を目指していることから、これらからの専門的知識の向上のみならず、我々、理学療法士自身の健康やライフワークバランスを考える必要があります。リハビリ専門職自身の働き方や学ぶ環境について総体的なりハビリ専門職として、多工能な知識獲得ができる盛りだくさんなセミナーです。

1. 日 時：令和元年 **11月24日(日) 10:00~16:20** (受付9時30分から)
2. 場 所：中頭病院 二階研修室 (沖縄市登川 610 番池)
3. 内 容：  
セクション1 10:00~11:45  
テーマ『包括社会を作りたい ～介護予防・リハビリ専門職の働き方を考える～』  
講師：河合 麻美 氏 (理学療法士、NPO 法人 ReMind 代表理事、日本理学療法士連盟女性部役員)  
セクション2 13:00~14:30  
テーマ『産前産後のリハビリテーション』  
講師：稲福 陽子 氏 (理学療法士、産前産後の骨格動き調整からリ・骨盤フィジカルケア代表)  
セクション3 14:40~16:10  
テーマ『赤ちゃん歯科って何。～リハビリテーションではなく、「ハビリテーション」とは。』  
講師：島袋 郁子 氏 (歯科医師、おさむファミリークリニック 歯科クリニック 顎顔面口腔育成研究会)
4. 参加対象者：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、その他医療従事者
5. 本会場定員：70名 (定員に達した場合は締切ります。お早めにお申し込み下さい。)
6. 受講費：会員 2,000円、会員外 20,000円、他職種 3,000円
7. **申込み締切：令和元年 11月15日(金)**
8. 主催：NPO 法人 Remid リハビリママ&パパの会 共催：沖縄県理学療法士協会  
後援：沖縄県理学療法士連盟 沖縄県徒手療法研究会
9. 申込み方法  
沖縄県理学療法士協会ホームページ (<https://oki-pt.or.jp/calendar/>) から『ライフワークセミナー』を選択し、『申込みフォーム』より必要事項を入力し、お申し込み下さい。  
※申込み完了後、受付メールが自動配信されますので保管してください。

※新人教育プログラムポイント C-5 地域リハビリテーション読替可  
※専門認定理学療法士ポイント 生活環境支援領域 5ポイント付与

【お問い合わせ先】 リハビリママ&パパの会 仲宗根美紀 ([mimimi.kikiki.s.1231@icloud.com](mailto:mimimi.kikiki.s.1231@icloud.com))  
勤務先：愛聖クリニック TEL098-939-5252

# 子育て世代の理学療法士のスキルアップ

## ～ライフワークを考えるセミナー～

日時: 令和元年 11月24日(日) 10:00～16:20

会場: 中頭病院 2階(研修室)

『スキルアップをライフワークに!』をテーマに、子育て世代も、これからの子育て世代もライフワークを考える機会です。「包括社会とは?」「産前産後のリハ」「小児歯科、顎顔面口腔」多岐にわたるスキルアップもできる欲張りな研修です。ぜひご参加ください。

### 産前産後のリハ

産前産後のリハビリテーション考えてみませんか。

稲福陽子 先生

産前産後の骨格動き調整からリ・  
骨盤フィジカルケア代表

### ～包括社会を作りたい～

医療、介護、生活支援、介護予防...  
リハ専門職が「求められること」「働き方」を考える。

河合麻美 先生

リハビリママ&パパの会代表  
ReMind代表理事

### 赤ちゃん歯科って何?

口腔機能と体の発達の繋がリ

～~~リ~~ハビリテーションの勧め～

島袋郁子 先生

おさむファミリー歯科クリニック

PT会員 2,000円

PT非会員 20,000円

その他職種 3,000円

### キッズルーム(幼児・児童)

ご希望の方、要申込みです

赤ちゃん👶抱っこ同席可能です。申込み時にお声掛け下さい  
参加者は、泣いちゃう赤ちゃんへのご理解を宜しくお願い致します。

(\*^-\*)

定員先着 70名

駐車場 200円

共催: 沖縄県理学療法士協会、NPO法人 Re Mind  
後援: 沖縄県理学療法士連盟、沖縄徒手理学療法研究会

申し込み: 沖縄県理学療法士協会ホームページ  
問い合わせ: リハビリママ&パパの会 会員  
仲宗根美紀(愛聖クリニック)

# 子育て世代の理学療法士のスキルアップ ～ライフワークを考えるセミナー～



河合麻美 氏

～包括社会を作りたい～ 「リハ専門職が求められること」「働き方を考える」

研修時間 10:10～11:50

リハビリママ&パパの会 ReMind 代表理事 代表 河合麻美 氏

1965年に「理学療法士・作業療法士法」が施行されてから現在まで、時代の流れや環境変化に応じてリハ職の働き方も変化してきました。2011年に地域包括ケアシステムが施行されてからは住まい、医療、介護、生活支援、介護予防と範囲も広がり、リハ職に求められることも多岐に渡ってきました。また、今年からは働き方改革関連法も施行され、リハ職としての選択肢も増大と共に一人の人間としての生き方、働き方も自由度が広がっている時代なのではないかと感じます。私自身、昨年末で25年間務めた急性期病院を退職し、今年「みんなちがってみんないい！包含社会を創りたい」をテーマにNPO法人ReMindを設立しました。元勤務先は第三次救急病院でしたので、病気や事故で病院に救急車で運ばれてくる患者さんと理学療法を通して関わってきました。多くの患者さんから話を聴くなかで、私がずっとモヤモヤと感じていたのは「医療と地域の見えない壁」でした。こんなに制度は満たされてきているのに、医療や行政の縦割りシステムの隙間で生きづらさを感じている方が多いことを知り…医療と地域を繋ぐ活動がしたい！と病院を飛び出しました。また、家庭では4人の子どもを育て仕事との両立に悩み葛藤し「誰かと話したい！」という想いからSNSでコミュニティを立ち上げ、その後PTママの会(現リハビリママ&パパの会)を設立することになり…昨年、その会も10周年を迎えました。これまでも何か大きな目標があったわけではありませんが、人生の岐路、悩み葛藤の時々で自分にとって、家族にとって最善の方法を選んできた末、現在がある気がします。いよいよ念願の沖縄での勉強会開催！この時間を通して、治療や人生を見つめ直したり、これからの可能性を広げるきっかけになっていただけることを願っています。どうぞよろしくお願い致します。



稲福陽子 氏

産前産後のリハビリテーション

研修時間 14:40～16:10

一般社団法人 骨盤フィジカルケア研究所 代表理事 稲福 陽子 氏

昨今、女性のライフステージにおける様々な身体課題や運動機能障害への関心が高まっています。ウイメンズヘルスケアという分野では、理学療法士の活躍が期待されています。女性たちの多くは、その時々々の悩みや要望を断片的に捉えがちです。例えば、不妊治療にはどんな運動が有効なのか？安全になるには骨盤をどうしたらいいのか？産後発生した激痛を何とかしてほしい。など、直面した問題のみに意識が向きがちで、根本的な姿勢や運動の課題を見つけきれいていません。医療専門職は、その悩みや要求を、根本的かつ生涯的な知見を捉えて、解決策を提供すべきであるとは言ってもありません。理学療法の知識と技術が、女性の抱える身体的課題に何を提供できるのか、社会が理学療法士に何を求められているのか、多職種と連携をどう築いていくのかが問われています。わたしは、理学療法士として様々な依頼を受けています。例えば、不妊治療中の運動療法についての研究発表、妊婦さんの痛みの解決の依頼を産科から受託、地域行政事業である子育て世代への身体作り講習、骨盤底筋トレーニング法を泌尿器科と立案、また、最近では、分娩進行中においての理学療法介入の検討などに関わっています。その中で、諸々のあ課題に共通し連続した問題を感じざるをえません。女性がもっと前段階から身体への意識を持ち、またその先を見据えた取り組みができるように、理学療法士が提案していくべきではないかと気づかされます。理学療法士の力が社会に必要とされていることは山積みだと思います。その提供の為に、多職種と協力し合うことは必須であり、理学療法士の統制のとれた専門性の向上と活動が必要だと考えています。



島袋郁美 氏

赤ちゃん歯科って何？

研修時間 13:00～14:30

おさむファミリー歯科クリニック 島袋郁子 氏

今どきの赤ちゃん、子どもたちはどうですか？と、聞かれたら、どう答えますか？ご自分のお子さんを、セラピストとしてみたら、どうみますか？姿勢が悪い、体幹が弱い、体力がない、運動が苦手、転びやすい、手先が不器用、かみかみが苦手、偏食がある、滑舌が悪い…等等、思いつくことがあるかもしれません。そんなことないよ、元気だし、よく遊ぶし、運動も上手、食欲も旺盛、歯並びだっていいし、気になることはない、と思われるかもしれません。ところが、小学生になってから、歯科クリニックに相談に来られることがとても多いです。むし歯の相談だけでなく、歯並びや、噛み合わせ、食べ方について困ったことが目についてくるのです。矯正した方がいいですか？ときかれたら、実は矯正をしないでもいいと思えるお子さんはほほいしません。顎が、体がうまく育っていないからです。その歯並び、その噛み合わせ、そのむし歯をつくった原因が除去されないまま、高額な治療をしても、治りきらない、後戻りしちゃうお子さんも多いです。赤ちゃんからの運動発達、姿勢の保持、咀嚼運動、舌の運動などを、再学習して、お子さんが育つ環境を考えて頂かないと難しい。でも、今までの生活習慣をかえるのって難しい！！ということで、私は、赤ちゃん歯科をしています。今どきのお子さんが、お口も体も健康に育つには、歯科だけではなく、多職種のセラピスト、保育者、教育者が問題に気づいて、赤ちゃん時代から、いえ、胎児期、妊娠前から連携する必要があります。リハビリテーションではなく、ハビリテーション！！まずは、ご自分のお子さんを、どう育てたいか一緒に考えてみませんか？